

附中だより



令和元年9月24日発行

文責 附属中学校 岡林健児



9月6日・7日の2日間、生徒会最大行事である桐龍祭(学園祭)が実施されました。今年のテーマは「Colorful満祭」。取り組みから本番まで、様々な場面において、一人ひとりの色(個性)が融合しあい、感動的なドラマが描かれたに違いありません。



本部役員によるオープニング



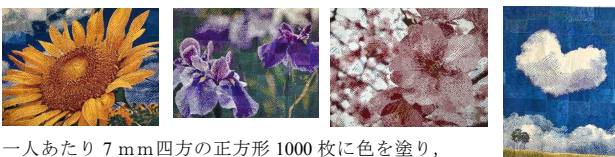
学年劇初挑戦の1年生



吹奏楽部の「ウルトラソウル」に合わせて、全員がジャンプ!



クラスの仲間も担任も、心はひとつ! 3年生ムカデ競争



一人あたり7mm四方の正方形1000枚に色を塗り、各ブロックごとに組み合わせ完成させた壁画(縦2.1m×横2.8m)



9月14日、山梨大学を会場として、若桐講座が実施されました。これは、大学との連携事業の一つとして、大学の先生方の講義を中学生、保護者、教職員で受講するものです。10年目となった今年は、12講座に延べ613名が参加しました。



宮崎先生「深海生物」の進化と起源



↑ 皆川先生の講義「変わる国民のイメージ～ドイツの事例から～」



藤原先生「鍵盤楽器の編成と楽器の構造・表現・作品の関わり」を語る ↑



■生徒の感想より

・「少し難しい面もあったが、先生の生い立ちなどを聞いて、もっと頑張ろうという気持ちになった。医者になろうか迷っていたので、良い参考になった。」

・「DNAやゲノムについて、私はほとんど知らずにいたが、1つの遺伝子の重要さや、あのように細かいものが体内にあり、しっかりと役割を果たしているというすごさ、遺伝子を活かした医療の発展など、とても大切なものであると理解するとともに、興味深いと思った。ゲノムが私達の生活に身近で、役に立つような日が来てほしいと思う。」

・「仮説を立てて、探求することの大切さがわかりました。学校生活でも、これをいかしたいです。深海について、もっと知りたいと思いました。」

■保護者の感想より

・「語学が好きな子どもにとって、中学では学べないことが学べて、さらに興味が広がるきっかけになったと思う。大人にとっても、日頃知ることができないことを知るよい機会だった。」